



定期レポート

Cisco DNA Center プラットフォーム を使用して、レポートのサンプル化およびスケジュール設定を行います。詳細については、[Cisco DNA Center プラットフォーム ユーザガイド](#)を参照してください。

- [データとレポートの操作 \(1 ページ\)](#)
- [レポートのサンプルとスケジュール \(2 ページ\)](#)
- [マイダウンロードの確認 \(4 ページ\)](#)

データとレポートの操作

データおよびレポート機能は、次の使用例をサポートしています。

- **キャパシティプランニング**：ネットワーク内のデバイスがどのように利用されているのかを理解できます。
- **パターンの変更**：ネットワークでの使用パターンの傾向の変化を追跡します。使用パターンの傾向には、クライアント、デバイス、バンド、またはアプリケーションが含まれる場合があります。
- **運用レポート**：アップグレード完了やプロビジョニング障害などのネットワーク運用に関するレポートを確認できます。
- **ネットワークの正常性**：レポートによってネットワークの全体的な正常性を判断できます。



(注) データおよびレポート機能の新しい使用例は、将来のリリースで追加される予定です。これらの情報については、今後の [Cisco DNA Center プラットフォーム](#) のリリースノートで確認してください。

レポートのサンプルとスケジュール

ネットワークに関する専門的なデータレポートを設定するには、この手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Data and Reports] ウィンドウを使用では、データレポートを設定できます。

始める前に

- Cisco DNA Center で **ディスクバリジョブ** を正常に実行し、デバイスとネットワークデータに関するレポートを設定およびスケジュールします。[Device Inventory] で **ディスクバリジョブ** が成功しているかどうか確認できます。[Home] ページで、[Provision] > [Device Inventory] > [Inventory] の順に選択して、検出結果を表示します。

ステップ 1 [Catalog] ウィンドウを確認します。

[Catalog] ウィンドウに、カタログ品目と呼ばれるサポート対象のレポートカテゴリが表示されます。各カタログ品目はタイルで表示され、サンプルレポートとレポートの設定（スケジュール）の両方へのリンクが含まれています。

ステップ 2 [Catalog] ウィンドウで、レポートを作成するカタログ品目を指定します。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、カタログ品目のタイルで [Sample] をクリックします。

そのサンプルレポートの [Preview] ウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

(注) [Preview] ウィンドウのサンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、カタログ品目のタイルで [Schedule] をクリックします。

[Schedule] ウィンドウが開きます。ここで、レポートのフォーマットタイプを選択、データのフィルタを適用、および実際のレポート生成スケジュールを設定できます。

ステップ 6 [Schedule] ウィンドウでは、レポートを作成するためのパラメータを設定します。

[Schedule] ウィンドウは次のフィールドに分かれています。

- [Format] : デフォルトのレポート名を承認するか、新しいレポート名を作成します。また、データタイプやファイルタイプを選択します（複数のオプションがある場合）。

- [Filters] : レポートのデータのフィルタを選択します。
- [Schedule] : レポート生成の日時を選択します。
- [Send to] : レポートのダウンロードリンクが記載された電子メールの送信先となる電子メールアドレスを入力します。

ステップ 7 [Report Name] フィールドで、デフォルトのレポート名を受け入れるか、新しいレポート名を入力します。

ステップ 8 [Type] フィールドで、データタイプをクリックします。

SWIM およびインベントリレポートの場合は、データタイプの選択肢はありません。デフォルトのデータタイプは、[All Data] です。エグゼクティブサマリーの場合、データの選択肢はありません。[Executive Summary] がデフォルトになります。

(注) エグゼクティブサマリーレポートの日付と時刻の値は、協定世界時 (UTC) 標準に基づきます。

クライアントレポートの場合は、次のいずれかを選択できます。

- **Client Summary**
- **Top N Summary**
- **クライアントの詳細**

ステップ 9 [File Type] フィールドでは、完成レポートのファイルタイプを選択します。

[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- **PDF**
- **CSV**
- **Tableau Data Extract**
- **JSON**

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性 (追加フィールド) を選択できます。

ステップ 10 (任意) レポートの属性 (フィールド) を選択します。

(注) SWIM データとレポートの場合は、[CSV] と [Tableau Data Extract] の両方のファイルタイプについて、個々のフィールドを選択できます。クライアントデータとレポートの場合は、[Client Detail] を選択してから、[CSV]、[Tableau Data Extract]、[JSON] の各ファイルタイプについて、個々のフィールドを選択できます。インベントリデータとレポートの場合は、[CSV] と [Tableau Data Extract] の両方のファイルタイプについて、個々のフィールドを選択できます。

ステップ 11 必要に応じて、レポートの [Data Filters] を選択します。

[Data Filter] は、設定するレポートのタイプによって異なります。たとえば、SWIM データフィルタは、[Location]、[Device Family]、および [Device Role] で構成されます。対照的に、エグゼクティブサマリーのデータフィルタは、特定の時間範囲です (追加の [Custom] 時間範囲オプションがあります)。

ステップ 12 [Schedule] フィールドで、レポートのスケジュールを設定します。

[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Schedule Now**
- **Schedule for Later**
- **Reoccurring Schedule**

ステップ 13 レポートの電子メール通知を送信するには、[Send to] フィールドに電子メールアドレスを入力します。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知には、元の通知に戻るリンクと、[Data and Reports] の [My Downloads] ページへのリンクがあります。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) 電子メールからレポートを表示してダウンロードするには、適切な Cisco DNA Center ユーザ権限が必要です。

ステップ 14 [Schedule] ボタンをクリックします。

[My Downloads] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

次のタスク

[My Downloads] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。



(注) [My Downloads] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除することができます。

マイダウンロードの確認

以前生成したレポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除するには、この手順を実行します。

始める前に

- Cisco DNA Center で **ディスカバリ** ジョブを正常に実行し、デバイスとネットワークデータに関するレポートを設定およびスケジュールします。[Device Inventory] で **ディスカバリ**

ジョブが成功しているかどうか確認できます。[Home] ページで、[Provision] > [Device Inventory] > [Inventory] の順にクリックして、検出結果を表示します。

- [Catalog] の [Schedule] 機能を使って、レポートを作成します。

ステップ 1 [My Downloads] タブをクリックします。

次の情報が表示されます。

- [Name] : レポートの名前。
レポート名を指定しなかった場合は、レポートの日付と時刻とともにレポートタイプを含むデフォルト名がレポートに設定されます。
- [Report Type] : カタログオプション（クライアント、SWIM、インベントリ）に基づくレポートのタイプ。
- [File Type] : ファイル形式タイプ（PDF または CSV ファイル形式など）。
- [Schedule] : レポートを生成したスケジュールの説明。
- [Last Execution Status] : レポートの実行ステータスと詳細が表示されます。次のレポート実行ステータスタイプが表示される場合があります。
 - [Not Initiated] : スケジュールされたが、まだ開始されていないレポート。
 - [In Queue] : スケジュールされ、実行する処理キュー内にあるレポート。
 - [In Progress] : 現在実行中のレポート。
 - [Completed] : レポートの実行が完了しました。
[Completed] の横にあるアイコン（下矢印）をクリックすると、最後に生成されたレポートがダウンロードされます。
 - [Expired] : 期限切れになり、Cisco DNA Center で使用できなくなっているレポート。
 - [Error] : レポートの実行に失敗しました。
- [Reports] : 合計で最大 7 個のレポート数。

表示されたレポート数にマウスのカーソルを合わせると、[View Report List] が表示されます。レポートダイアログボックスを表示するには、[View Report List] をクリックします。レポートダイアログボックスには、すべてのレポート実行とそのステータス（[Not Initiated]、[In Queue]、[In Progress]、[Completed]、[Expired]、[Error]）、およびコピーをダウンロードするための [Download] ボタンが表示されます。[Error] をクリックすると、レポートの実行に関するエラーと警告が表示されます。

重要 Cisco DNA Center プラットフォーム 合計 7 個のレポートを保持します。具体的には、Cisco DNA Center プラットフォームは実行された最後の 7 個のレポートと、過去 7 日間（週）に実行された最後の 7 個のレポートを保持します。たとえば、1 日に 8 個のレポートを実行した場合、Cisco DNA Center プラットフォーム は最後の 7 個のレポートのみを保持します。毎日 1 つのレポートをスケジュールすると、Cisco DNA Center プラットフォーム は過去 7 日間（週）にわたる最新の 7 個のレポートのみを保持します。また、Cisco DNA Center プラットフォーム からさまざまな形式でレポートをエクスポートし、それらを安全な場所にアーカイブすることもできます。

- [Actions] : レポートで実行できるタスクのリスト。

[Filter] アイコンをクリックしてフィルタを使用するか、[Find] フィールドにキーワードを入力することで、GUI に表示されるダウンロードを調整することができます。

ステップ 2 次の 1 つ以上のタスクを実行するには、[Actions] をクリックします。

- [Edit] : レポートに設定されたパラメータ（スケジュールを含む）が表示されるウィンドウを開きます。このウィンドウでは、設定されているレポートパラメータを確認できます。ただし、このウィンドウでは、レポート設定を変更できません。これは、読み取り専用ビューです。設定を編集する必要がある場合は、[Actions] > [Edit] をクリックします。[Edit] をクリックすると、レポート設定を表示および編集できます。

- [Edit] : レポートに設定されたパラメータ（スケジュールを含む）が表示されるウィンドウを開きます。このウィンドウでは、パラメータの確認および編集もできます。レポートを編集した後、[Update Schedule] をクリックします。

重要 レポート設定を編集して更新すると、以降のレポート実行にはこの新しい設定が反映されます。このことは、繰り返しのスケジュールでレポートが生成されている場合に重要です。さらに、レポート設定を編集して更新すると、Cisco DNA Center プラットフォーム の以前のレポートはすべて削除されます。このウィンドウで、[Update Schedule] ボタンをクリックすると、削除に関する警告が GUI に表示されます。[Update Schedule] ボタンをクリックして以前のすべてのレポートを削除するために設定で編集を行う必要はありません。

- [Duplicate] : レポートのパラメータを表示または設定できる [Schedule] ウィンドウが開きます。レポートを再度実行するには、[Schedule] をクリックします。

(注) 既存のレポートとその設定に基づいて新しいレポートを作成する場合は、[Duplicate] オプションを使用し、設定を変更します。これにより、既存のレポートとその設定を保持したまま、既存のレポートと同様の新しいレポートを作成できます。既存のレポートを廃棄して新しいレポートに完全に置き換える場合は、前述のように [Edit] オプションを使用します。

- [Run Now] : レポートを実行するプロセスを開始します。レポートの実行が成功すると、成功メッセージが表示されます。

(注) レポートを実行しようとしたときに以前のレポートが 7 個ある場合、最後の 7 つのレポートのみが保存されることを示す警告が GUI に表示されます。レポートの既存のスケジュール以外でレポートを生成する必要がある場合は、[Run Now] オプションを使用します。

- [Delete] : レポートを削除します。レポートを削除する前に、このアクションを確認するよう求められます。
-

